

生産局長賞

三重四日市農業協同組合

～直売所の小規模多店舗展開により地域農業の維持に貢献～

代表者：寺尾 正

構成員：生産者490名、JA職員8名

所在地：三重県四日市市

活動開始年月日：平成14年11月

表彰理由

直売所を「日々の食材を買いに来る店」として位置づけるとともに、専業農家の大量出荷に対応するため、直売所の小規模多店舗展開、出荷者への研修などによる資質向上、POSシステムの導入等による消費者の需要の把握などにより、直売所の取扱高や出荷者一人当たりの売上も増加。専業農家の経営安定に寄与するとともに、出荷者のプロ意識の醸成や地域農業の維持にも貢献。

取組内容

1 直売所の取組

直売所を「日々の食材を買いに来る店」として位置づけるとともに、兼業農家だけでなく専業農家の大量出荷に対応するため、小規模で多店舗を展開。平成14年11月の1号店開設以降、現在は8店舗を運営。

産地情報や調理方法などスーパーでは得られない情報の提供、店舗内のチラシや口コミによる宣伝など商店街を意識した店舗運営。

出荷者の意識を高めるため、直売所へのお荷者に「四季菜出荷者会」への加入を義務づけ。

出荷者に栽培履歴の記帳、提出を義務づけ。なお、栽培履歴記録用紙は生産者が記載しやすく農薬類が正しく選択されるよう独自様式を採用。

四季菜出荷者会員を対象とした研修会の開催や店舗の月別販売状況、出荷規格、栽培のポイント等を記載した「四季菜だより」を毎月発行し、会員の資質向上。

2 農業体験教室の開催

直売所に併設された畑を活用し、小学生を中心とした親子を対象とした農業体験教室を開催。

3 地産地消と地域環境への理解促進

「赤とんぼのふるさと探し」として水田でのとんぼ探し等を実施し、稲作の背景には地域(農業、水田)があること、地産地消が地域環境の維持に貢献することを消費者に啓発。